

# 分析試験成績書

第507030193-002号  
2007年(平成19年)04月03日

依頼者 株式会社 クロスポイント

検体名 GC-J1型

財団法人

日本食品分析センター

東京本部 〒151-0062 東京都渋谷区東三軒三丁目52番1号  
 大阪支所 〒564-0051 大阪府堺市東区東町3番1号  
 名古屋支所 〒460-0017 名古屋市中区栄4丁目6番13号  
 九州支所 〒812-0034 福岡市南区西戸崎1番12号  
 多摩研究所 〒206-0036 東京都多摩市水辺6丁目11番10号  
 千歳研究所 〒066-0058 北海道千歳市文京2丁目3番  
 彩都研究所 〒567-0083 大阪府茨木市彩都あさぎ7丁目4番41号

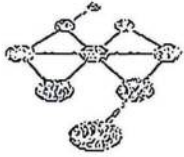
2007年(平成19年)03月05日当センターに提出された上記検体について分析試験した結果は次のとおりです。

## 分析試験結果

分析試験項目	結果	検出限界	注	方法
耐圧性能試験	異常なし		1	

注1. JIS S 3200-1:1997「水道用器具-耐圧性能試験方法」。負荷水圧:1.75 MPa及 $\pm 20$  kPa

以上



Japan  
Food  
Research  
Laboratories

## 試験報告書

第 507030193-001 号  
2007年(平成19年)03月23日

依頼者 株式会社 クロスポイント

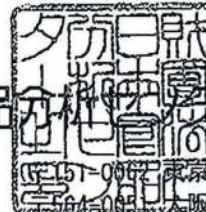
検体 浄水ユニットII型

表題 浸出試験

2007年(平成19年)03月05日当センターに提出された  
上記検体について試験した結果は次のとおりです。

財団法人

日本食品



東京本部 〒151-0062 東京都渋谷区元代々木町52番1号  
大阪支所 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町3番1号  
名古屋支所 〒460-0011 名古屋市中区大須4丁目5番13号  
九州支所 〒812-0034 福岡市博多区下呉服町1番12号  
多摩研究所 〒206-0025 東京都多摩市永山6丁目11番10号  
千歳研究所 〒066-0052 北海道千歳市文京2丁目3番

## 浸出試験

### 1 依頼者

株式会社 クロスポイント

### 2 検 体

浄水ユニットⅡ型

### 3 試験概要

検体について JIS S 3200-7:2004「水道用器具-浸出性能試験方法」により、カドミウム及びその化合物等の浸出試験を行った。

### 4 試験結果

結果を表-1に示した。

表-1 浸出試験結果

項目	結果	検出限界
カドミウム及びその化合物	検出せず	0.001 mg/L
水銀及びその化合物	検出せず	0.00005 mg/L
セレン及びその化合物	検出せず	0.001 mg/L
鉛及びその化合物	0.002 mg/L	***
ひ素及びその化合物	検出せず	0.001 mg/L
六価クロム化合物	検出せず	0.005 mg/L
ぼう素及びその化合物	検出せず	0.1 mg/L
亜鉛及びその化合物	0.017 mg/L	***
アルミニウム及びその化合物	0.09 mg/L	***
鉄及びその化合物	検出せず	0.03 mg/L
銅及びその化合物	検出せず	0.01 mg/L
ナトリウム及びその化合物	20 mg/L	***
マンガン及びその化合物	検出せず	0.005 mg/L
フェノール類	検出せず	0.0005 mg/L
有機物[全有機炭素(TOC)の量]	0.3 mg/L	***
味	異常なし	***
臭気	異常なし	***
色度	0.5度以下	***
濁度	0.05度以下	***
スチレン	検出せず	0.002 mg/L

区分：給水管等

初流水2.0 Lについて試験した。

## 5 試験方法

### 1) 浸出操作

検体を給水栓に取り付け、依頼者指定のろ過流量で水道水(東京都多摩市)を1時間通水した後、検体滯水量の3倍の精製水を通水した。次に、同量の浸出液(pH7.0±0.1, 硬度45±5 mg/L, アルカリ度35±5 mg/L, 残留塩素0.3±0.1 mg/L)を通水して止水した。約23℃で16時間静置後に浸出液を再通水し、初流水2.0 Lを採水して試料液とした。また、浸出液を同条件で静置し、空試験液とした。

なお、依頼者の指定により、コンディショニング操作は省略した。

### 2) 測定方法

測定方法を表-2に示した。

表-2 測定方法

項目	測定方法
カドミウム及びその化合物	誘導結合プラズマ発光分光分析法
水銀及びその化合物	還元気化-原子吸光光度法
セレン及びその化合物	誘導結合プラズマ質量分析法
鉛及びその化合物	誘導結合プラズマ質量分析法
ヒ素及びその化合物	誘導結合プラズマ質量分析法
六価クロム化合物	誘導結合プラズマ発光分光分析法
ほう素及びその化合物	誘導結合プラズマ発光分光分析法
亜鉛及びその化合物	誘導結合プラズマ発光分光分析法
アルミニウム及びその化合物	誘導結合プラズマ発光分光分析法
鉄及びその化合物	誘導結合プラズマ発光分光分析法
銅及びその化合物	誘導結合プラズマ発光分光分析法
ナトリウム及びその化合物	誘導結合プラズマ発光分光分析法
マンガン及びその化合物	誘導結合プラズマ発光分光分析法
フェノール類	固相抽出-誘導体化-ガスクロマトグラフ質量分析法
有機物[全有機炭素(TOC)の量]	全有機炭素計測法
味	官能法
臭気	官能法
色度	透過光測定法
濁度	積分球式光電光度法
スチレン	ヘッドスペース-ガスクロマトグラフ質量分析法

以 上

浸出性能の判定基準

項目	判定基準 給水管等
カドミウム及びその化合物	0.01 mg/L以下
水銀及びその化合物	0.005 mg/L以下
セレン及びその化合物	0.01 mg/L以下
鉛及びその化合物	0.01 mg/L以下
ヒ素及びその化合物	0.01 mg/L以下
六価クロム化合物	0.05 mg/L以下
ほう素及びその化合物	1.0 mg/L以下
亜鉛及びその化合物	1.0 mg/L以下
アルミニウム及びその化合物	0.2 mg/L以下
鉄及びその化合物	0.3 mg/L以下
銅及びその化合物	1.0 mg/L以下
ナトリウム及びその化合物	200 mg/L以下
マンガン及びその化合物	0.05 mg/L以下
フェノール類	0.005 mg/L以下
有機物[全有機炭素(TOC)の量]	5 mg/L以下
味	異常でないこと
臭気	異常でないこと
色度	5度以下
濁度	2度以下
スチレン	0.002 mg/L以下

2007年3月30日作成